

■令和4年度外部点検シート（第2次糸島市長期総合計画施策2次評価一覧表）

※令和3年度実施事業分評価及び令和5年度施策の方針

R3実績が  
目標に  
達成:△  
未達:▼

施策責任者である部長による5段階評価  
ランク/A（順調）  
ランク/B（概ね順調）  
ランク/C（やや課題がある）  
ランク/D（大きな課題がある）  
ランク/E（抜本的な改善が必要）

| 基本目標       | 政策             | 通し番号 | 施策                       | 施策統括課    | 指標NO | 施策に関する目標達成指標                                   | 単位 | 現状(R1) | R3実績 | R3計画 | R7目標 | R3指標進捗 | 施策ごとの令和3年度実施計画事業                          | 総合評価   | 【二次総合評価の所見】<br>※評価の理由とR4に実施することなど   | R5の施策の方向性   | 総合計画審議会からの主な意見<br>(取り組みや手法の改善策など) |
|------------|----------------|------|--------------------------|----------|------|--|----|--------|------|------|------|--------|---|--|---|---|-----------------------------------|
| 重点課題プロジェクト | 重点課題：稼ぐ・経済活性化  | 61   | “糸島しごと”のブランド化プロジェクト      | 商工振興課    | 165  | 市内で就業している人の割合                                  | %  | 52.1   | 52.1 | 53.0 | 55   | ▼      | ・新規起業家応援事業<br>・テレワーク推進事業<br>・中学生起業家教育推進事業 | B  | 糸島しごとのブランド化においては、創業や事業継承、副業やテレワークなどの多様な働き方が選択できる環境を作る必要がある。令和3年度の研究結果も踏まえながら、余暇の過ごし方といったライフスタイルなども含めて、創業者がどのような支援を求めているのかを把握したうえで、効果的な取り組みを進めていく必要がある。  | 目標達成のため、中小企業振興計画を活かし、必要に応じた施策を打ち出す必要がある。新規事業として、糸島の豊かな農林水産物などの魅力を生かした事業を行う商工業者を取材し、記事や動画で紹介し、起業に繋げていくことを検討している。令和3年度協定大学等課題解決型研究で行われた市内の飲食業者や工房等を対象としたアンケートでは、事業者間の人脈や交流を求める声が多く出ている。そこで、商工会補助事業を改善し、商工会と連携して創業者を支援する「創業者サロン」を検討している。 |                                   |
|            |                |      |                          |          | 166  | 創業件数（商工会支援件数）【再掲】                              | 件  | 44     | 48   | 54   | 72   | ▼      |   |  |   |   |                                   |
|            |                |      |                          |          | 167  | 将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合（全国学力・学習状況調査）※R3全国値：68.6% | %  | 72.9   | 67.4 | 73.5 | 75   | ▼      |   |  |   |   |                                   |
|            | 重点課題：学術研究都市づくり | 62   | “糸島サイエンス・ヴィレッジ”実現化プロジェクト | 学研都市づくり課 | 168  | サイエンス・ヴィレッジへの参入企業・研究所等数                        | 社  | 0      | 0    | 0    | 2    | —      | B   | 企業・研究所の誘致という面では、まだ成果は出ていないが、糸島サイエンス・ヴィレッジを実現するための推進母体である一般社団法人SVI推進協議会を設立し、事務所を開設した。また、具体的なプロジェクトの1つであるローカル5Gの基地局を設置した。令和4年度には、ローカル5Gをはじめ各プロジェクトを進めていくこととする。 | 実証実験やプロジェクトの実施によって、糸島サイエンス・ヴィレッジに興味を持つ企業や研究者を増やしていく。一般社団法人SVI推進協議会が実施する各プロジェクトに関する企業・研究者・研究所のうち、糸島サイエンス・ヴィレッジへの進出を促す。デジタル田園都市国家戦略交付金テレワークタイプの活用を検討し、SVIの事務所をテレワークセンター機能を持たせたものに改修し、スタートアップを含めた企業・研究所の立地を促進する。 |   |                                   |